



発行所
青森県高等学校・障害児
学校教職員組合
青森市橋本1丁目2-25
教育会館 017(734)7287
編集発行人 酒田 享
購読料一部 20円は組合費
の中に含む

熊本地震カンパ
への協力を
お願いします!



©2010
熊本県
くまモン
熊本文芸

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/aokokyoso/> ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/>

May Day 第87回メーデー

No image

労働者の祭典、県内各地で意気高く

5月1日、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をスローガンに第87回メーデーが県内各地で意気高く開催されました。

中央集会 (東青)

第87回メーデー中央集会が今年はいづみ海公園で、300名を超える参加者が集い開かれました。青森市副市長、東北労金本部長、社民党県連代表、日本共産党県委員会があいさつし、三村県知事からメッセージが寄せられました。奥村実行委員長は「戦争法廃止、立憲主義擁護、安倍内閣退陣」をめざし、野党共闘でたたかう参議院選挙の意義を強調しました。高教組は、ビューティフルサンデーの替え歌で「野党は共闘、戦争法は廃止、ハイハイハイ、きつと勝てるデー」と、戦争法廃止を訴えました。その後、青い海公園から新町繁華街に向けてパレードしました。

三八地区

5月1日、長者まつりめぐ広場にて三八地区のメーデーが開催されました。参加者は高教組から4名参加を含め200人を超えました。中道議長のあいさつの

後、来賓を代表して田名部匡代さんが挨拶をし、労働者の権利を守り、国民の生活を豊かにし、安倍政権の戦争する国づくりの暴走を許さないため7月実施予定の参議院選挙に出馬し、勝利する決意を述べました。いままで、民主党が全労連系のメーデーに出席したことはなく、歴史的なメーデーとなりました。集会終了後は、労働者の権利を守り、平和な日本を維持し、福祉が充実することを願いながら、八戸市の一歩の繁華街を大きな声をあげながらデモ行進しました。

中弘南黒地区

中弘南黒地区メーデー集会は、弘前駅前公園で行われました。全体で20団体、255名、高教組中南支部からは5名が参加しました。集会では様々な立場からのリレートークがあり、この時期のメーデーの重要性を改めて感じました。集会後は弘前公園まで、パレードをしました。

坂道の風

今年の4月から「障害者差別解消法」が施行されていることをご存知だろうか？この法律は、簡単に言うと障害者を理由に様々な場への参加を妨げてはならないというものだ。障害を持つ人との共生社会形成に向けたよい法案であると思う▼しかし、今国会の厚生労働委員会、それも障害を持つ人にとって重要な「障害者総合支援法」改正にかかわる審議で、障害を理由にその当事者の参考人意見陳述を見送ったというニュースを聞いた時はわが耳を疑った。先の法律を決めた国会が、自らその法律の精神に反したことを行ったのではないかと思う▼私たちの社会において法を守ることは重要なことだ。その法律を作るのは国会である。そうであるならば、国会議員は国民に遵法の姿勢を示す必要があるのではないか。今年の夏には参議院議員選挙が行われる。国会のあり方を決めるのは私たちだ。みんな投票に行き、よりよい社会を作る人を国会に送りだしたいものだ。(お)

小規模校生き残り競争へ

県立高校教育改革推進計画基本方針案

県教委は2018年度以降の新たな学校統廃合の基準となる「県立学校教育改革推進計画基本方針案」を発表しました。急激な少子化に対応するため、小規模校の大胆な統廃合を打ち出しました。今後、小規模校や、重点校・拠点校に指定されなかった学校は生き残り競争にさらされるとになります。

基本方針案では、今後10年間で3100人の生徒が減少することが予想される

分類	説明	規模・配置
重点校	選抜性の高い大学への進学に対応する高校	<ul style="list-style-type: none"> 1学年当たり6学級以上 各地区に最低1校?
拠点校	実践的な職業教育に対応する高校	<ul style="list-style-type: none"> 一つの専門学科で4学級以上 農業科・工業科・商業科を全体的なバランスを考慮して配置 統合により複数の学科を有する高校も
その他の学校	幅広い進路選択に対応する高校	<ul style="list-style-type: none"> 1学年当たり4学級以上 規模を下回った場合統廃合
	地域校 通学が困難な地域にある高校	<ul style="list-style-type: none"> 2学級規模の地域校：入学者が40人以下の状態が2年間継続した場合、原則として1学級規模とする 1学級規模の地域校：入学者が2分の1未満の状態が2年間継続した場合、募集停止
定時制		<ul style="list-style-type: none"> 地区ごとに配置
通信制		<ul style="list-style-type: none"> 東青・中南・三八に配置

地区に1校程度ずつ残り、それ以外は生徒数の減少に合わせて学級数を減らしていく考えです。そして、4クラス以下になった時点で、通学に困難な地域の「地域校」以外は統廃合の対象となります。

基本方針案には通学が困難と判断する基準として「早朝（おおむね午前6時以前）に乗車しなければならぬ」などの記述がありますが、冬場の気象を考えると午前7時以前でも十分生徒には負担だと思えます。現在、郡部の学校はほとんどが4クラス以下の小規模校です。これらの学校を中心に統廃合していくのであれば、そのしわ寄せは郡部の生徒に行くことになりそうです。また、小規模校は職員の数も少なく、自由に使える予算も限られています。その中で生き残り競争を戦うのは、職員にとってかなりの負担です。進学実績や部活などによる「切磋琢磨」ではない、新たな小規模校の教育スタイルを模索する必要があります。

労働条件なるほど講座

Q：臨時講師です。学校で人事評価の自己目標シートが渡されましたが、臨時講師もやるんですか？

人事評価制度は非常勤職員と臨時的任用職員は対象外です。Q&Aには「採用・配置に当たっての考え方が異なる職員は評価の対象者から除外しています。」とされています。ところが高教組が各職場に確認したところ、大半の学校で、「採用された時のための練習」「臨時講師を励ますため」などの理由で臨時講師にも自己目標シートの提出が求められているようです。このままではおそらく、年度末にS・A・B・C・Dの評価が出されることになると思います。この評価結果がどのように「処理」されるのか明らかになっていません。

高教組が2009年に開示請求で入手した平成20年度教員採用候補者選考試験（第一次試験）合否の基準について「最終選考基準（案）では「講師経験者については、経験年数や勤務実績を考慮」などと臨時講師の勤務成績を選考材料にすることが明記されています（現在の選考基準からは

A：臨時講師は対象外です。それは人事評価制度とは「別のもの」です。

削除)。もし、「採用された時のための練習」「臨時講師を励ますため」などとして行われた臨時講師の人事評価が採用試験の選考に使われているとすれば、個人情報目的外使用にあたります。県教委自身も高教組の問い合わせに対し「制度的には除外しているの、臨時講師にもやっているの、であれば、それは別な制度としてやっている。こちらとしてはやってほしくない。」(教職員課)と答えています。

管理職による恣意的な評価を気にして、臨時講師が賃金以上に働かざるを得ない状況に追い込まれているとすれば、それはかなりブラックな状況です。高教組は、臨時講師の評価を行わないよう県教委や管理職に働きかけていきます。



採用試験突破をめざして!

「虎の穴オープン」「虎の穴I」を終えて

4月30日土曜日、青森県教育会館において「虎の穴オープン」を行いました。今回だけは組合未加入の方も参加できるオープン形式で、20名を超える参加者で会場には熱気が溢れていました。現場に働く臨時講師の方、あとの半数は大学生のみなさんでした。昨年度の採用試験問題の分析や合格者の体験発表、願書の書き方などを学びました。5月14、15日は公立小川原湖青年の家で「虎の穴I」を行いました。15名の参加者で行いました。2日間で教職教養「法規」と願書の完成、集団討論演習にみっちり取り組みました。夕食は東北町のレストランでがっちり栄養を摂り、東北温泉で入浴してリラックサスし、深夜終わるまで願書作成に取り組みました。最後に書き上げた塾生は3時半で終了。集団討論演習では、発言する際の基本的なポイントや、討論の流れ

言のポイントを確認し、後半は本番同様の演習も行いました。塾生は緊張のなかで精一杯討論し、最後に互いの発言を振り返り、ここがよかったかを振り返り待ちしております。

今回の6月18、19日は岩木青少年スポーツセンターで合宿です。さらに集団討論演習に磨きをかけていきます。みなさんの参加をお待ちしております。

No image

参加者の熱気があふれた「虎の穴オープン」

温泉で入浴してリラックサスし、深夜終わるまで願書作成に取り組みました。最後に書き上げた塾生は3時半で終了。集団討論演習では、発言する際の基本的なポイントや、討論の流れ

定期大会に集まろう!!

6月11日土曜日12:45から、浅虫温泉「辰巳館」において、高教組第77回定期大会を開催します。定期大会に先立つて障害児・青年・障対部委員会を10:30から行います。今回の定期大会は、できる限り多くの組合員のみなさんに参加していただき、高教組のこと、学校のこと、児童・生徒のことについてじっくり話し合いたいと思います。

今、学校現場は長時間労働・多忙化に加え、新人事務・評価システムが導入され、教職員のみなさんの愚しい状況はかつてない新たな段階に入ってきたのではないかと思います。この事態を打開するため、今こそ高教組として一つにまとまる

一人一人の力は小さいけれど、つながることで初めて大きな力を生み出すことができます。

「集まれば元気、話し合えば勇気」、私たちのエネルギーは集まること、つながることにより大きくなるのではないのでしょうか。そこで、一年に一度は、組合

『虎の穴II』

岩木山合宿



○日時: 6月18(土)・19日(日)
18:00-18:00 9:00-12:00

○場所: 岩木青少年スポーツセンター
TEL0172-93-2338

○内容: 教職教養・集団討論演習・小実技演習
○持ち物: 宿泊希望者、洗面道具一式

スタッフも募集中です!

青森県教職員組合(青森県教組)
TEL: 0173-321 FAX: 0177-149 E-mail: info@shibetsu.ac.jp
青森県高等学校・障害児学校教職員組合(青森高教組)
TEL: 0173-337 FAX: 0173-4111
http://www.ped.or.jp/shibetsu/ E-mail: shibetsu@shibetsu.ac.jp

員同士直接顔を合わせて話をするのが大切ではないかと思ひ、この「定期大会全員参加」の方針を本部執行委員会で決定しました。

日頃の愚痴でけっこう職場の悩みをもつてきてほしいのです。少人数の分會ではなかなか解決できないこともあるでしょう。でも私たちは高教組という旗の元に集った仲間です。お互いの状況を受け止め合い、知恵を出し合い、前に進んでいきます。

私たち青森高教組が所属する全国組織「全教」は「組織建設3か年計画」に取り組んでいます。そこで、私たちも青森高教組という組織をさらに大きくしていくために、私たちの「青森高教組組織建設3か年計画」を今回の定期大会で、組合員のみなさんの声を互いに聞き合う、思いを交換しあう場にできたらと思ひます。新たな高教組運動のスタートです。

本部執行委員一同、みなさんの参加をお待ちしております。

支部から 各分会との連携を深めよう 中南支部総会&歓送迎会

No image

楽しい雰囲気の中南支部歓送迎会

4月9日(土)、中南支部総会・歓送迎会(春の懇親会)が行われました。総会は来賓として中弘南黒地区労連事務局長佐藤伴三氏、青森高教組執行委員長酒田孝氏も参加し、総勢9名の参加でした。総会では昨年度の活動を総括するとともに、新年度の活動方針を確認しました。新年度も支部内の各分会との連携を深めるために、支部役員も積極的に活動することを確

認しました。

総会後は会場を替えて歓送迎会を行いました。参加は他支部からの転入者を交え、11名でした。久しぶりに二桁の参加者を得て、最近の情勢や思いを語り合い楽しいひと時を過ごしました。今後も積極的に懇親会の場などを設定し、多くの分会の仲間とのつながりを大事にしていきたいです。

支部から 思いを受け継いで！ 東青支部退職者激励会

No image

思いを語り合った東青支部退職者激励会

3名の退職された先生、2名の東青転入の先生を招き、合計10名の参加で「激励会&歓送迎会」が開かれました。退職された先生方からは、組合に加

全国の仲間と共に・・・

要求実現に向けて、声をあげよう！

～第一次最賃デー 5・20 中央行動～

No image

5月20日(金)、表記の行動が行われました。全国から700名を超える仲間が集まり、最低賃金の大幅引き上げ、全国一律最賃制度の確立、臨時・非常勤職員処遇改善、公務員賃金改

要求実現に向けて声をあげた中央行動

善等を、政府・国会に対してアピールをしました。総務省前、厚生労働省前での集会後、国会請願デモを行い、私たちの要求を声高らかにアピールしました。デモ終了後は、戦争法廃止、諸要求実現署名提出決起集会があり、私たちの思いが詰まった署名(戦争法廃止署名はこの場では22万筆あまり、全体では1200万筆が集まっています)を国会議員に手渡しました。このような中央行動では、全国の働く

仲間(教職員以外も含め)との連携を感じ、様々な情報を得て、思いをアピールすることが出来ます。今回は私たちの集めた署名がどのようなものかをみることもできました。皆さんもこのような行動に参加してみてはどうでしょうか。

No image

国会議員に署名を手渡す代表者



入した当時の事や今までの活動を振り返ってのお話を聞き、長年に渡って組合員として活躍されたことにお礼を述べ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして、また現場に残られるという話を聞き、心強く思っています。東青支部に帰ってきてくれた若手2名の先生方とともに、一層力を合わせて支部を盛り上げていこうという気持ちになる会でした。

2016年度 契約更新の時期です!

<p>地域特約付 火災共済</p> <p>自然災害にも安心! 地震特約もつけてさらに安心</p>	<p>先進医療特約付 医療共済</p> <p>もしものケガによる入院にも安心! 一日日から給付</p>
<p>生命共済</p> <p>万一、病気やケガで障害が残った場合にも安心の給付(後遺障害給付)</p>	<p>新傷害共済</p> <p>国内・外のケガでの治療にスピーディーな給付</p>



コチラもおすすめします

<p>総合共済</p> <p>全国どの地域でもできる600円の掛けあい!</p>	<p>年金共済</p> <p>安全を最優先にしてあなたの財産を守ります!</p>
<p>教職員賠償責任共済</p> <p>親身な相談、賠償額も万全です!</p>	<p>全教自動車保険</p> <p>教職員のみならず、通勤で欲しい保険です!</p>
<p>くらしの賠償責任共済</p> <p>日常生活の法律上の賠償責任から家族を守ることに守ります!</p>	